

公社住宅、カーボンマイナスを強化

～人に地球にやさしい住まいを提供～

東京都住宅供給公社は、住戸でのより一層のCO₂排出削減と都市空間の緑化に取り組むこととした。平成19年度事業の新築工事（※1）から、建物本体の高断熱化と設備機器の高効率化を実施していく。

なお、東京都においては、2020年までに2000年比25%のCO₂排出削減等を目標に、カーボンマイナス東京10年プロジェクトを展開している。また、東京を緑あふれる都市へと変えていくため新たに1000haの緑を生み出すとしており（「10年後の東京」）、当社の取組みは、これらを踏まえたものである。

1 断熱対策

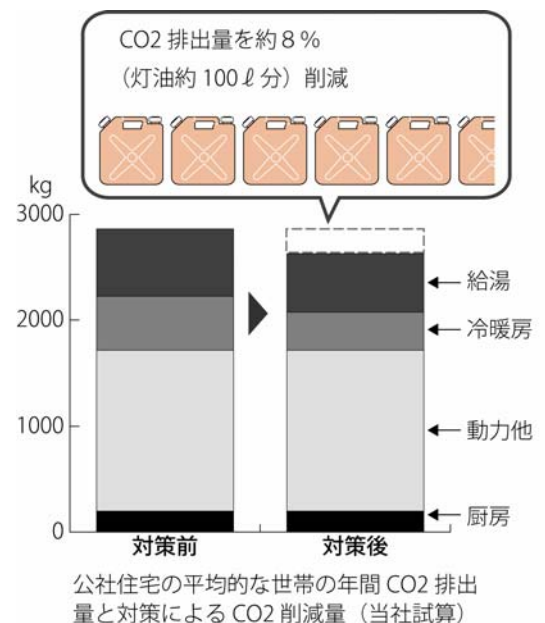
- ・次世代省エネルギー基準に適合する断熱仕様による冷暖房負荷の抑制
→新省エネ基準（現行建替事業の仕様）に比較して、冷暖房によるCO₂排出量の約30%削減

2 省エネ対策

- ・高効率型給湯器の採用によるガス消費量の抑制
→給湯器からのCO₂排出量の約13%削減

（参考）住宅建替時の世帯当りのCO₂削減効果

世帯当たり家庭内の年間CO₂排出量を約2.9tとした場合、上記1，2の対策により約8%程度のCO₂削減効果を見込む（当社試算）。これは、灯油約100ℓを燃焼させた場合のCO₂排出量に相当する。



3 緑化対策（※2）

・敷地内及び屋上・壁面の緑化

（例） 広町2期（中野区）

- ・ 自走式駐車場の壁面緑化
- ・ 一部住棟セットバック部分の屋上緑化
- ・ 既存樹木の保存に配慮

※1 当社は、現在、約6万戸の一般賃貸住宅のうち、当面、昭和39年度以前に建てられた約1万9千戸の住宅を対象として、建替を中心とした計画的な再編整備を推進している。

※2 緑化については、団地の立地・規模等、特性を活かした対策を実施する。

【問合せ先】

東京都住宅供給公社

住宅計画部推進課

電話 03-3409-2261(代)